

市民が主役のまちづくりを目指して！

平成30年度 まちづくり懇談会 レポート！



市長の長尾忠行がみなさんの疑問にお答えします♪



各地でまちづくり懇談会が開催され、5月24日から1月31日までの間、21会場で348人の方が参加し、まちづくりについて質問や意見交換を行いました。

懇談会の際にお寄せいただいた貴重なご意見を今後の市政に活かしながら、活力ある地域づくりを進めていきます。

●市民からの質問・・・市民から

●市からの回答・・・市から

人口増加への取り組みについて

市民から 人口を増やすことについて、市ではどういった取り組みをしているのか。

市から ●第2子からの保育料無料化、子育て世帯の住宅の新築・購入支援、小・中学校



の予算の拡充、子育て包括支援センターの設置、子育てアプリの運用開始など、子育て支援を進めている。

●農地に住宅を建築する場合には様々な制約が生じるが、その制約を緩和し、一般の方が住宅を建築できる区域を広げていくことを進めている。

平川市のPRについて

市民から 平川市は住みよいまちだが知名度が低いため、もう少し情報発信をして欲しいと思う。

市から ●市としてはシティプロモーションに力を入れ、ホームページやSNSを活用しながら全国へ情報発信しているが、簡単には知名度は上がってこないものである。PRしていくのは大事なことなので続けていく。

●PR活動としては、Uターン、Iターンを狙って東京や仙台で交流の場を作っているが、今年度は住んだり体験したりを組み合わせる計画しており、PRに努めたいと思っている。



シティプロモーションロゴマーク

SNSで情報発信を頑張っております！ぜひ応援をお願いします！



●市内の情報発信にご協力をお願いします！ #平川市 #やっばりこたね平川市

観光誘客について



市民から 平川市は県内10市のなかで一番観光客が少ないという記事を目にした。打開策として起爆剤となるようなものはないのか。市外の方へ発信していく力も必要なのではないか。

市から ●観光客の入れ込み数は県への報告の仕方がまちまちであり、平川市に観光客が訪れていないということではない。

●近年、外国からの観光客が増えているため、観光施設の表示を何ヶ国語で作ったり、台湾の学生のホームステイ事業を行うなど、国外からも観光客を取り込めるようにしている。しかし、宿泊施設が少なく長期滞在しづらいのが難点であるため、民間や観光協会、物産協会などと連携しながら観光誘客を進めていきたい。



台湾からホームステイに訪れた学生

●平川市だけに観光に来ることは多くないため、近隣市町村との協力も必要であると考えている。また、市民の皆さんの意見も活かしながら平川市の観光を作っていきたい。

新本庁舎について

市民から 新本庁舎のデザインは、田園地帯の平川市にはそぐわないようなデザインではないか。建設費用もかなり高額であると感じている。また、維持管理についてはどのように考えているのか。

新庁舎の外観イメージ▷



市から ●新本庁舎のデザインはプロポーザル方式で12の応募があった中から、選定委員が5つのデザインを選び、プレゼンテーション実施後に選ばれている。

●今回の事業終了後、市の基金は70億円ほどになる。甚大な被害をもたらした平成3年の台風19号の際に20億円ほど復旧にかかっているため、基金は最低でも40億円は残しておきたいと考えている。

●冷暖房については、約20度の地下水を活用し、更に冬は地下水を冷暖房に使った後、駐車場の一部融雪にも使う。新本庁舎は省エネ建築物にすることで、維持管理費が低減できるようにしている。

市民から 短命県返上に向け、新本庁舎には体を動かすことができるスポーツ関連設備が必要であるとする。また、庁舎の周りにウォーキングスペースなどを設ける予定はあるか。

市から ●運動できるスペースの設置は予定していないが、一番下の階層にグランドフロアというところを設け、市民の皆さんが集まることのできるスペースとする。また、外構には「ねぶた広場」の名称で広場を設置することとしており、その場所を活用して体を動かすことは可能だと思う。

尾上総合支所の利活用について



市民から 新本庁舎建設後の尾上総合支所の利活用の予定について教えてほしい。

市から ●新本庁舎の建設後、尾上総合支所には市民生活課と通級指導教室だけが残る。

●尾上地域の町会長と意見交換を実施しているほか、市役所内で尾上庁舎利活用庁内検討会議を組織し検討をはじめたところである。新本庁舎の完成まで期間があるので、町会の意見や他県の事例も参考としながら検討を進めていきたい。

弘南バス「弘前尾上線」の廃止について



市民から 弘南バス「弘前尾上線」の廃止の経緯と今後どういった形で補っていくのか教えてほしい。

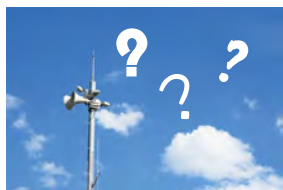
市から ●利用者が少なくなったことに起因する。市としては路線廃止ではなく減便での継続を事業者と関係市町村と協議、要望してきたが、青森県バス交通等対策協議会津軽南地域分科会において廃止の決定がされた。

●代替案としては、タクシー会社による乗り合いタクシーを運行する。

まちづくり懇談会の様子



防災無線放送が聞き取りにくいことについて



市民から 防災無線が聞こえづらい所があるので解消してほしい。全世帯に聞こえていないようでは災害があったときに困る。町会としては、防災無線を受信できるラジオの設置を検討しているが、市ではどのように考えているか。

市から ●場所や窓の開閉状況によっても異なり、みんなに同じように聞いてもらうのは難しいが、市では補完するサービスとして有料ではあるが電話で放送を再度聞けるサービスを実施している。

●携帯電話向けに、登録すると放送内容と同じものをメールで流すサービスも実施している。

●ラジオについては、市販のものでは防災無線と連動することは出来ない。対応するラジオは高額であり每户への対応は難しいため、公共施設や学校などへの設置を行っている。

町会全体で集まる機会の創出について

市民から 町会の中で、子どもたちからお年寄りまでが集まる行事となると夏祭りやねぶたくらいしかない。尾上、碓ヶ関地域は平賀地域まで距離があり、費用がかかるため、市の合同運行に参加するのも難しい。子どもから大人までが集まる機会が少なくなってきているのでねぶた運行に補助を出すなど何か対策はないものか。



市から ●地域の方が集まって行事などを行うことは大事だと思っている。コミュニティを大事にするために、納涼祭の開催などにコミュニティ助成金を支出している。

●合同運行に出ている団体に対しては補助金を出している。また、おのえねぶた祭りは尾上地域の商工会において実行委員会を作って運営しているが、職員の減少などにより出来なくなるという話があった。しかし、尾上地域の住民の有志で今後も運行できないかということで、関係者が集まって会議を開いたとのことなので、来年度以降も開催できるかもしれないと考えている。市としても経済的な助成などはしていきたいと考えている。



●陸上競技場が完成したら運動会をやりたいと考えていた。一昨年に陸上競技場ができたので、町会での参加や様々な団体が参加できるスポーツイベント「平川市スポーツデー」を開催している。子どもから大人までが参加できる、簡単に楽しめる種目などを盛り込んだイベントのため、毎年多くの方に参加してもらっている。

町会に加入していない人のゴミ集積所の利用について

市民から ゴミ置場については町会で管理を行っているが、町会に加入していない方に、ゴミをどのように出してもらえばよいのか教えていただきたい。また、ゴミの分別がきちんとされていない場合や集積場所の変更、集積所を増やしたいといった場合、どのように対処すべきか。

市から ●ゴミの集積所については、公共的な設備という位置付けのため、町会に加入していない方でも利用することができるということで対応してもらいたい。

●ゴミの分別がされていない場合は、集積所に出したゴミでも回収していかないという対応を取っている。町会でそういったケースを見つけた場合は、市へ連絡をいただければ対応する。また、ゴミ袋に名前が書いていないなど目に余るケースの場合も、市へ連絡をいただきたい。

●集積場所の増減や変更については、地権者と町会の合意のもとに、市へ届け出ることによって可能となっている。



除雪開始時期について



市民から 市では例年12月から除雪を始める。一昨年は11月に大雪が降ったが対応してもらえなかった。もっと早めに除雪体制をとってほしい。

市から ●業者との契約前に大雪が降った場合は、直営のロータリー車などで除雪を行っている。

●今年度は11月下旬をめどに業者と契約をする。これより前に大雪が降っても、直営のものでなるべく対応をしたい。

空家対策および解体等の助成費用について

市民から 空家対策について、市ではどのような制度があるのか。また、1人暮らしの高齢者の方から、老朽化した小屋を解体したいが費用がかかることから断念したという話を聞いた。このような方に助成する制度はあるのか。

市から ●空家対策については隣接者に危険を及ぼすようなものは、所有者に対し指導を実施する予定である。壊れたものの解体については50万円を限度として補助金がある。リフォームについても30万円を限度とした補助金がある。

●空家の中でも利用できるものについては、弘前圏域で実施している空き家バンクに登録し、情報を提供しながら利活用を出来るような取り組みを進めている。

◆これまでの懇談会の内容については、市役所本庁舎および尾上・碓ヶ関総合支所、葛川支所でご覧になることができるほか、市ホームページで公開しています。

◆平成31年度の開催日程については、広報ひらかわ5月号に掲載予定です。